

にほんごをまなぼう 18 指導案(例) べんきょうしましょう

年齢	小学校中学年 (他の学年に応用する ときには内容を変える)	テキスト	にほんごをまなぼう1
学習者	通級が始まって1カ月。18課の表現は半分ぐらいできているので、動詞の復習をしながら。まただんだん不正確ないい方が増えてきているので正しい言い方に修正。		
備考	2~3名 非漢字圏		

学習目標
1) ~行目 2) Vましょう、Vてください、Vません 3) 「しりません」「なんとよみますか」 4) 可能「みえる」「きこえる」
P57 は「じっかい」だが、学校では「じゅっかい」の言い方が一般的ななので発音は「じゅっかい」で指導。

内容	目的
導入	
T 数字の復習。数字カードを見せて「1, 2, 3, 4...」復唱 良く切って S にカードを引かせて、カードの番号をすぐに言ってもらう	数字の復習 (~行目への導入)
展開	
プリントを配る (7月の遠足のお知らせ。行番号を書いておく) T: 3行目を読みましょう。(指でさしながら) 1, 2, 3 3行目「べ、と、な、む、料理を たいけん」 T: アロヨさん、4行目を読んでください T: 3行目の漢字は知っていますか? (首を振る、いいえなどの否定が出たら) S の横に回り、「知りません」と代わりに言う。 S 「知りません(復唱)」 T 3行目の漢字は知っていますか? S 「知りません」	授業中に分からないこと、知らないこと、忘れたことなどを聞かれたら、答えられる。 見えないときに「見えません」と言える  (実際の学校で言えるかどうかはそのクラスの雰囲気にも寄る。日本語教室の中で折に触れて、聞いたり言わせたりするようにして慣れていってもらおう) 知っている I know 我知道 夕alam ko

T:「りょうり」	ポ eu sei わかっている I understand 我明白 タ Nauunawaan ko ポ entendo
休憩	
2 時間目:文字・語彙・表現	
文法	
動詞の活用表を埋める	
まとめ プリントを配る。(宿題)	

動詞活用表

なまえ( )

～ます	～ません	～てください
たちます	たちません	たってください
すわります		
来 <sup>き</sup> ます		
たべます		
(コー <sup>ー</sup> ラを)のみます		
(ほんを)よみます		
(ひらがなを)かきます		
(てれび <sup>て</sup> を)みます		
(がっこうに)いきます		
(なまえを)おぼえます		
(しゃしんを)みせます		
いいます		